

和歌山県・和歌山市政策連携会議資料

和歌山県

- 1 土砂災害警戒区域等の早期指定
- 2 子育て安心支援
- 3 在宅医療提供体制の構築
- 4 障害者用駐車区画の適正利用促進
- 5 外国人観光客の誘致体制整備推進
- 6 国際人育成プロジェクト
- 7 都市空間の再構築戦略の推進
- 8 屋外広告物条例の徹底
- 9 岡公園の整備

土砂災害警戒区域等の早期指定

平成27年度：850,500千円
平成26年度補正：818,100千円
(595,350千円)

土砂災害危険箇所の調査を加速的に推進し、土砂災害防止法による
区域指定を早期に完了させる

現状

県内の土砂災害危険箇所数は約18,500箇所（全国第6位）

目標

平成31年度までの5力年で基礎調査を完了

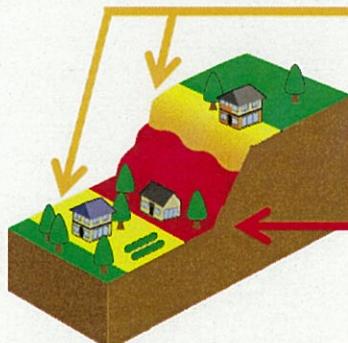
手続きの迅速化による早期の指定完了をめざす

基礎調査の
実施

→
調査結果の公表
(平成26年法改正)

→
市町村との
協議等

→
土砂災害警戒
区域等の指定



土砂災害警戒区域

[土砂災害のおそれのある区域]

- ・警戒避難体制の整備
- ・ハザードマップの作成

土砂災害特別警戒区域

[建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれのある区域]

- ・特定の開発行為に対する許可制
- ・建築物の構造規制
- ・建築物の移転等の勧告

子育て安心支援

平成27年度：11,861千円
(新規)

保育や子育て支援従事者の質と人数の確保により、安心して子どもを育てられる環境づくりを推進

保育従事者等の質の確保

平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度に伴い、「**子育て支援員**」制度が創設

子育て支援員

地域において保育や子育て支援に従事することを希望する者に対し、必要となる知識や技能等を習得するため創設された全国共通の研修制度を修了し、「子育て支援員研修修了証書」の交付を受けた者

県で子育て支援員養成研修を実施し、ファミリーサポートセンター、放課後児童クラブ等で保育などに従事する者の受講を促し、県内の保育、子育て支援の質を向上

配慮を必要とする児童の受け入れ促進

放課後児童クラブで「配慮を必要とする児童」を受け入れた場合

現行

何人受け入れても定額（国庫補助有り）

新年度

3人以上受け入れた場合に職員1名相当分を**県独自に加算補助**

(県1/2 市町村1/2)

在宅医療提供体制の構築

平成27年度：59,920千円
(新規)

超高齢社会を迎える中、在宅患者が地域で安心して自分らしく暮らせるよう、地域で支え合う在宅医療体制を構築

平成27年度

関係団体や市町村とともに、
在宅医療体制の全県的な制度設計を実施

① 患者・家族への支援

② かかりつけ医の確保

③ 病院の受入体制確保

県が主導

体制の整ったところから段階的に制度開始

平成28年度～

県内全域で在宅医療提供体制を構築

平成30年4月～市町村が主体となり在宅医療と介護を一体的に実施

障害者用駐車区画の適正利用促進

平成27年度：2,222千円
(新規)

障害者用駐車区画の適正利用を推進するため、
利用許可証を交付し、利用対象者を明確化

利用対象者

歩行困難等の一定程度以上の障害者（駐車禁止除外措置の対象者と同程度の方）を想定

対象となる 駐車区画

登録の届出のあった駐車区画（**登録障害者用駐車区画※**）

※駐車場管理者は案内表示を行い、許可証を掲示していない車に対する指導を行う

<今後の流れ>

利用者や駐車場管理者への周知

許可証の発行・駐車場登録

運用開始 平成28年1月（予定）

（利用許可証イメージ）



外国人観光客の誘客体制整備推進

平成27年度予算： 15,000千円
平成26年度補正： 1,314,162千円

【新規】

和みわかやま プレミアムキャンペーン

- 割引旅行商品を造成
- 外国人旅行者に対して、県産品や体験メニューを提供
- チャーター便を誘致

【新規】

FIT(外国人個人観光客) 誘客推進

- 世界的ニュースサイトで和歌山情報を発信
- 有名テレビ番組で和歌山情報を流す
- 人気ウェブ、ブログサイトで素顔の和歌山を露出
- 現地語で書かれた「和歌山」ガイドブックを展開

【新規】

和歌山フリーWi-Fi大作戦

- 県内の公共施設や観光施設にWi-Fiを設置
平成27年度設置予定 県有施設 12ヶ所、民間施設等 550ヶ所程度

【拡充】

多言語案内表示整備

- 県内の公共施設や観光施設に多言語案内看板等を整備
平成27年度予定 県有施設(ジオサイト、道路標識など) 400ヶ所程度
市町村施設(観光地案内表示)、駅など 400ヶ所程度

和歌山おもてなしトイレ大作戦

- 観光地等の公衆トイレへの温水洗浄便座の導入等
[25年度実績 233件 26年度見込み 393件]

免税店の拡充

- 平成26年10月から外国人旅行者が土産物として購入した全品目が消費税免税となったことから、事業者に制度を周知し、免税店開設を促進

国際人育成プロジェクト

平成27年度：177,808千円
(80,249千円)

充実した内容の英語教育システムを構築し、世界で活躍する人材を育成

教員の英語指導力・英語力の向上

●英語指導力向上研修（新）

- ◆4年間で各小学校1名の中核教員及び中高英語科教員に対し、新しい英語教育に向けた指導力の向上研修を実施

●研修受講者のTOEIC受験（新）

- ◆教員の英語力の検証のため、中高英語科教員がTOEICを受験

●語学力アップ研修（新）

- ◆TOEICの結果を踏まえ、英語力の向上を図る研修を実施

●英語授業改善

- ◆授業改善研究協議会等で指導体制の構築に向けた協議・検討を行う
- ◆指導主事による巡回指導訪問を実施

生徒の英語学習環境整備

●FLT（外国人講師）の人員拡充・資質確保（拡）

- ◆現在16名→31名に拡充

- TESOL（英語教授法）などの国際的な指導資格を持つFLTを全日制の県立高校ごとに配置
- スーパーサイエンス指定校（向陽・海南・日高）に理数系のFLTを配置

●海外語学研修・留学への助成

●英語ディベート大会の実施

●わかやま高校生クイズ in Englishの開催

●全中学3年生が英語検定3級程度を受験（新）

- ◆生徒の学習意欲の底上げ・実力把握、指導の徹底をはかる

目的：生徒の国際人としてのコミュニケーション能力向上

都市空間の再構築戦略の推進

県土整備部	都市政策課
企画部	総合交通政策課
農林水産部	農林水産総務課

平成27年度：20,000千円
(10,000千円)

都市の拡散と空洞化によって、

- 不動産の価値が低下
- 都市施設の整備費と維持費が市町の財政を圧迫
- 車に乗れなくなったお年寄りが生活できない

都市再生の推進

- ・ターミナル駅や県庁周辺地域の再開発などエリアの活性化に向けた企画・提案を実施
- ・都市の再生に向けた**市町の計画づくりを支援**



- ・中心市街地の活性化
- ・遊休不動産の活用
- ・にぎわいの創出

計画的なまちづくりの促進

市町と連携し、

- ・農用地区域の積極編入により**優良農地の転用を原則認めない**等、郊外部での新規開発を抑制
- ・都市計画の見直しに向けた土地利用案を県主導で策定・提案



STOP

- ・都市の無秩序な拡大
- ・店舗、工場、住宅が無秩序に混在
- ・ミニ開発の乱発による農地分散

屋外広告物条例の徹底

多くの不適切な違反屋外広告物等によって、地域の景観が大きく阻害され

- まちなかの生活環境が悪化
- 観光地の魅力が低減



和歌山のイメージの低下

違反広告対策の推進

- 屋外広告物の適正化に向けた取組の実施

県市が連携し、それぞれの条例遵守に取り組む

- ・重点路線や地域を設定した計画的指導
- ・屋外広告業者、広告主に対して条例遵守を周知徹底



県市が連携して具体的取組を推進

※県内の違反指導等に係る分担

- ・和歌山市 ……【業者登録・指導】市 【違反広告物指導】市
- ・その他の市町村……【業者登録・指導】県 【違反広告物指導】各市町村

岡公園の整備